



◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input type="radio"/> 意図した効果があがっている <input checked="" type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない	有明海におけるガザミ資源の減少を抑えるため、種苗の放流事業は必要である。 種苗の放流の効果は、継続することで見えてくると確信している。
	<input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている	漁業振興を図る中で種苗放流事業は必要不可欠と考えており、今後も継続して実施したい。
	<input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	県の補助がなくなっても継続して実施しており、市の支援は重要である。
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     総 合 評 価                 </div>	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性
	判 定 理 由	ガザミ資源の減少を抑えるには、種苗放流の継続した取り組みが必要であるため。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	漁獲量は不安定であり、資源確保のための取組として、また、産業振興のための取組として評価できる。継続実施が妥当と判断した。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持                        ⇒ 予算措置額の増減                        0千円	
備 考	